

訓練教育および継続教育

2006 年期

ヴァイサー・リング

奥付：

社団法人ヴァイサー・リング、55130 マイントツ、ヴェーバーシュトラッセ 16

電話：06131 / 83 03-0、ファクス：06131 / 83 03 45

Eメール：info@weisser-ring.de / www.weisser-ring.de

2005 年 3 版 / 3,500 部

内容責任：

ヴェルナー・ブラル

造本：OKINOL!有限責任会社

目次

プロ根性を持ったボランティア（ehrenamtlich：無給名誉職）	3
関心を持つことから、セミナー参加へ	3
組織に関する基準設定	4
セミナーシステム図	6
補習セミナー	6
継続教育セミナー	8
出先機関における広報活動	9
資金・物的手段の調達	11
対象グループ別被害者支援	12
刑事訴訟手続への同伴	13
コミュニケーション	15
保護活動	16
将来の出先機関長および代理人のための資格付与セミナー	17
担当者のためのセミナー	19
担当者	20
セミナーハウス	22
費用の弁済	24
申込	24
州事務局アドレス	25
申込書式（略）	
2006 年期申込データ（略）	
2006 年セミナー開催地および開催期間（略）	
2006 年度ドイツ連邦共和国各州における学校休暇（略）	
支援 助言 防止	29

プロ根性を持ったボランティア（ehrenamtlich：無給名誉職）

ヴァイサー・リングの活動は、2,700人以上のボランティアに支えられている。連邦全域に出先機関が400箇所あり、定款に掲げた目標である、被害者の支援、被害者利益の支援、犯罪防止を行動に移す。これらの責任の重い課題を全面的かつ完璧に果たすために、協会の構造、仕事に対する考え方、実際の法的被害者保護と被害者補償規定、ヴァイサー・リングの仕事に直接関わるその他の多くの分野について多層的な訓練教育・継続教育システムによって必要な知識を伝えて行くことである。

理事会では、教育システムの調和を図るために訓練教育と継続教育のための専門諮問委員会を設け、理事会メンバー、州委嘱委員、出先機関長、セミナー担当者がこの教育システムを協会内で常時検討し、より良いものに発展させることができるようにしている。

図でセミナーシステムの流れと関係を紹介した。当協会の基礎教育、訓練教育、継続教育内部の構成原理をご理解いただけたらと思う。

「訓練教育・継続教育」専門諮問委員会座長：
ヘルガルト・ファン・ヒュレン博士
電話：0 80 41 – 80 17 13

関心を持つことから、セミナー参加へ

ヴァイサー・リングでボランティア活動に興味ある方々には、初めに出先機関長がどのような形で協力願えるかお話しする。協会の活動について具体的に判ってもらうために、応募者に出先機関長あるいは経験者がついて、三ヶ月間、少なくとも三人の被害者の世話を体験してもらう。協力作業が合意されたならば、次に応募者は基礎セミナーに参加する。基礎セミナーに参加し、積極的なミーティングの後、州委嘱委員からヴァイサー・リングのボランティア職員に任命される。

任命後二年以内に、職員は義務と見なされている補習セミナーを終了しなければならない。

その他のセミナーは全て、任意教育科目である。中でも、被害者支援活動の対象、広報活動および資金・物的手段調達に関する継続教育セミナーで、集中的な経験交流の枠内で出

先機関での実際活動を見直す。

組織に関する基準設定

基礎セミナーは州自体が企画準備する。普通、毎年二種類のセミナーが提供されている。協会の活動原則を安定強化するために、内容が統一されている。そうすることによって同時に補習セミナーの共通の基盤が創られることになる。

居住している州で基礎セミナーを聴講できない場合、応募者が隣接する州でセミナーに参加できれば便利であり、また望ましい。

補習セミナーと継続教育セミナーを実施するために、常設地が四箇所設けられ、最寄りの各州ヴァイサー・リングがそれらのどれかに分類されている。

シェーンブルク・ツー・オーバーヴェーゼル（ラインラント・プファルツ）
バーデン・ヴュルテンベルク、ヘッセン、ラインラント・プファルツ、ザールラント、ノルトライン・ヴェストファーレン・ラインラント

クロッペンブルク（エムスラント・イン・ニーダーザクセン）
ニーダーザクセン、ノルトライン・ヴェストファーレン・リッペ、ブレーメン
ザーレム（メクレンブルク・フォアポンメルン）
ハンブルク、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、メクレンブルク・フォアポンメルン、ベルリン、ブランデンブルク、ザクセン・アンハルト（マグデブルク県）

リヒテンフェルス（オーバーフランケン / バイエルン・ノルト）
ザクセン・アンハルト（デッサオ県およびハレ県）、ザクセン、チューリンゲン、バイエルン・ノルト、バイエルン・ジュート

被害者支援活動領域における継続教育セミナーの各テーマに対して毎年二つの期間が実施されている。これらの期間は、二年ごとに同じテーマ内容、同じセミナー地でセミナーが開催される形で交替して行くのである。

広報活動および資金・物的手段調達テーマについて、テーマごとにその都度一つの催し

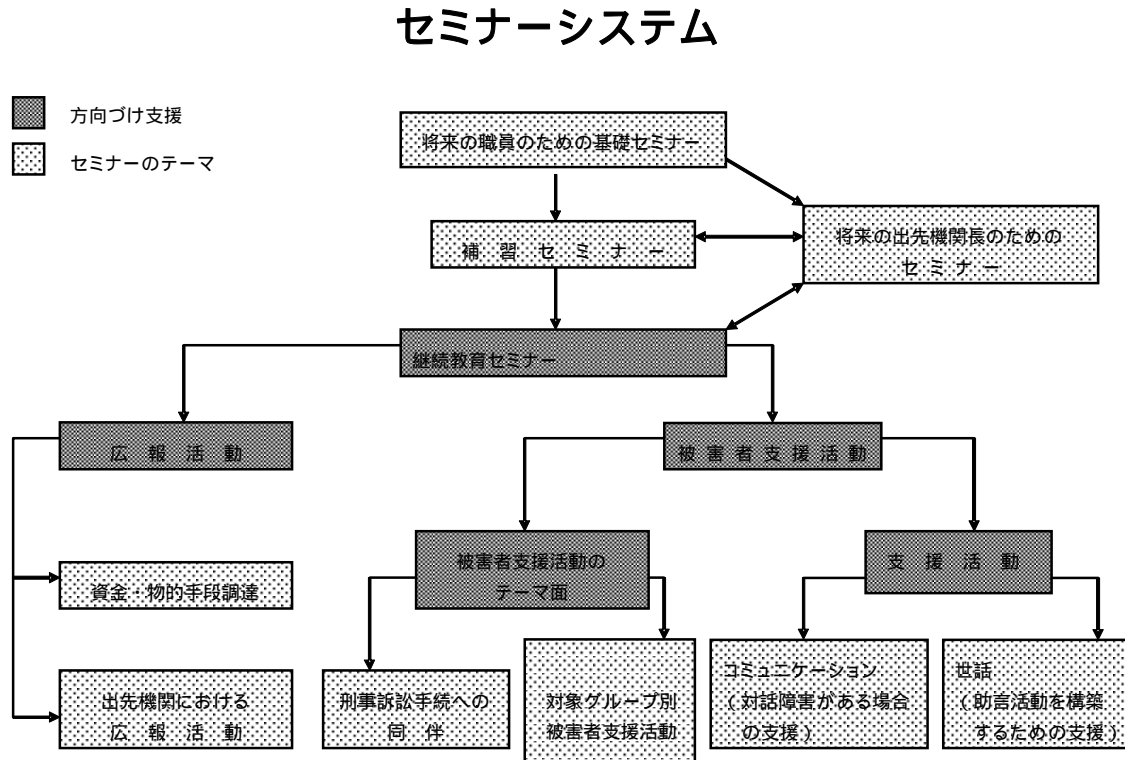
がセミナー地シェンブルク・ツー・オーバーヴェーゼルで提供される。

各出先機関の将来の長と代理人を対象に、特別の準備セミナーを設け、出先機関長任命前に受講することになっている。これらのセミナーも開催地はシェンブルク・ツー・オーバーヴェーゼルである。

ヴァイサー・リングは、継続教育運営機関として承認されてはいない。従って残念であるが、セミナー参加を「教育休暇」に組み込むことはできない。

ヴァイサー・リングのセミナーでは、協会活動にとり重要なテーマと方法が扱われている。

セミナーシステム図



補習セミナー

対象グループ

任命された出先機関長で、セミナー未参加者全員を対象にセミナーを実施する。数年の内に繰り返し参加してもらいたいと考えている。

目標設定

補習セミナーでは、第一段階で出先機関における実際の活動の形態について理論的な基盤を与え、応用面で活かしたいと考えている。出先機関の構成に関する知識も、法的・社会的な基礎条件に関する知識も併せて伝えたい。

このセミナーでは、知識の伝達と並行して、経験交流の機会、出先機関の垣根を超える職員相互間の接触を構築することにも積極的に取り組む。

セミナーの内容

出先機関における活動の特徴は、多層的であることである。これらのセミナーでは、被害者支援活動と広報活動の重点について具体的なイメージが与えられ、基本セミナーで得られた基礎知識に対する理解を進め、それを深めて行く。そのため、次の様な内容が用意されている：

法的被害者保護における調整

被害者補償法（OEG）およびその他の社会法

精神的外傷学に関する基礎証言

初回対話時の状況

ケース例の処理

広報活動に関する経験交流

一方で一般的な経験交流も用意されている。これらのセミナーは実践を重視しており、日常活動のために新たな刺激を与えてくれるはずである。

重要：

お申し込みの際、ご自分の領域を対象とする会議場がどこか注意されたい。

任命後、職員は、履修が義務づけられている補習セミナーの課程を二年以内に修了しなければならない。

まえもって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約20人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

- 1月6日～1月8日 ザーレム
- 1月6日～1月8日 オーバーヴェーゼル
- 1月20日～1月22日 リヒテンフェルス
- 4月28日～4月30日 クロッペンブルク
- 5月5日～5月7日 ザーレム
- 6月30日～7月2日 クロッペンブルク
- 7月7日～7月9日 オーバーヴェーゼル
- 9月15日～9月17日 リヒテンフェルス
- 10月27日～10月29日 クロッペンブルク
- 10月27日～10月29日 リヒテンフェルス
- 11月3日～11月5日 ザーレム
- 12月8日～12月10日 オーバーヴェーゼル

継続教育セミナー

このタイプのセミナーの特色

基礎セミナーおよび補習セミナーの内容ならびに出先機関における実践活動に基づき、被害者援助および当協会のその他の任務における活動を支えるために、各種の継続教育セミナーを提供する。

被害者支援活動を支援するために、セミナーには、対象グループ別被害者支援活動（子供、女性、青少年、年長者、強制移住者、外国人）刑事訴訟手続への答弁、コミュニケーションおよび世話活動の各種活動科目が設けられている。更に広報活動ならびに資金・物的手段調達の各テーマ領域向けセミナーもある。尚、最後の二つのセミナーは、出先機関でこれらの分野を出先機関管理部の指示に従って自主的に引き受けることが求められている職員向けのものである。

重点テーマ

継続教育セミナーの主な内容は次の通り：

被害者支援活動ならびにその他の定款目的に関する社会的、心理学的、犯罪学的問題提起に対する洞察

対象グループである子供、女性、青少年、年長者、強制移住者、外国人、ヴァイサー・リングの重要なクライアントの側に身を寄せる

相互作用とコミュニケーションの方法に関する知識を駆使

トラウマを負った犠牲者を支援するための基礎知識

広報活動の領域における基礎知識と基礎的技能

資金・物的手段調達領域における基礎知識と基礎的技能

他の出先機関と地域の職員との経験交流

出先機関における広報活動

対象グループ

セミナーは出先機関長と職員の全員を対象にしている。その場合、特に注目しておきたいのは、このセミナーに出先機関から派遣されるのは、出先機関で広報活動を、重点的に組織・実施する責任を負う参加者のみである。この作業は常に出先機関管理部と調整して実施される。

セミナー内容

犯罪被害者の利益の公的擁護（ロビー活動）は、協会の存立に決定的に重要である。ロビイスト活動が可能なのは、広報活動、メディア、政治に十分反映させ、対象グループの利害も代表し、持続的な成果を得られる。ヴァイサー・リングの出先機関における継続的で確実な広報活動がこれに貢献する。セミナーで、この活動に使えるツールが

提供される。

セミナーの内容は次の通りである：

出先機関における広報活動のための基礎知識と活動段階の仲介

情報スタンドと見本市参加のプランニング支援

ヴァイサー・リング出先機関、州事務局および連邦事務局との協力

広報活動に被害者を含める場合の可能性とリスク

印刷メディア、TV とラジオ放送局の作業方法の仲介

定款目的である予防の実現

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

まえもって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約 20 人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

3月10日～3月12日 オーバーヴェーゼル

資金・物的手段調達

対象グループ

セミナーは出先機関長と職員の全員を対象にしている。その場合、特に注目しておきたいのは、このセミナーに出先機関から派遣されるのは、出先機関で資金・物的手段調達を、重点的に責任をもって組織・実施する参加者のみである。この作業は常に出先機関管理部と調整して実施される。

セミナー内容

財源を確保・強化することがヴァイサー・リングの活動にとり基本的に重要である。その場合、現在行われている活動・計画されている活動の実効性と効率も重要である。それには、例えば成果が約束できる資金・物的手段調達に関する確実な方法が必要である。この調達プロセスに共に参加する用意がある。セミナーはそのきっかけになる。

このセミナーの重要な内容は次の通りである：

協会の経済的基礎

集中ならびに分散措置と行動の具体化

資金調達の形態

調達プロセスの具体化

税法上の視点と境界（寄付金、保証人（スポンサリング）、遺産、基金など）

出先機関における行動のための経験交流と演習

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

前もって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約 20 人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

2月10日～2月12日 オーバーヴェーゼル

対象グループ別被害者支援

このセミナーには、任命されたボランティア出先機関長および職員の全員が参加できる。

セミナーの内容

2005年始めに、セミナー「年長者およびその他のグループにおける犯罪行為の場合の援助」ならびに「子供と女性における暴力犯罪行為」が統合され、内容が更新された。

ワークショップ的性格の催しでは、ヴァイサー・リングにおける被害者支援活動内部の複数の対象グループにおける犯罪行為の作用を具体的に表現し、検討し、解明する。

その場合、犯罪行為、それによって生じる、子供、女性、青少年、年長者、強制移住者、外国人に対する作用ならびにそのことと結び付いている保護措置のその都度の特殊形態を詳しく考える。

このセミナーの重要な内容は次の通り：

暴力のテーマおよび考えられる解決の手掛かりに関する一般的情報

法律家、医師、心理学者、教育家、警察職員などの視点による子供と女性に対する暴力のテーマに関する情報

他の諸機関との協力形態

各種ケースの処理に関する経験交流

午前組の対象グループ / 午後組の対象グループ

子供 / 女性

青少年 / 年長者

外国人 / 強制移住者

組織：

セミナー第二日の午前組と午後組で特殊対象グループ一つにそれぞれ三作業グループが設置されている。各参加者が作業テーマ一つと代替テーマ一つを選ぶ。エントリーには拘束力がある。

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

お申し込みの際、ご自分の領域を対象とする会議場がどこか注意されたい。

前もって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約 30 人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

3月3日～3月5日 ザーレム

12月1日～12月3日 オーバーヴェーゼル

刑事訴訟手続への同伴

対象グループ

このセミナーには、任命されたボランティア出先機関長および職員の全員が参加できる。

セミナーの内容

出先機関の活動および政策論議を進めて行く上で、大きな重要性があるのは裁判前の証人保護である。セミナーではこの流れを捉え、実際の被害者支援活動で証人同伴案内を援助する。

このセミナーの重要な内容は次の通り：

被害者証人を保護する場合の法的側面

被害者証人を刑事訴訟手続で同人の役割に対して準備するためのコミュニケーションの出発点

精神的外傷学の基礎要素

不安の発生とその取扱

刑事訴訟法に対する準備演習

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

お申し込みの際、ご自分の領域を対象とする会議場がどこか注意されたい。

前もって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約20人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

5月12日～5月14日 クロッペンブルク
10月6日～10月8日 リヒテンフェルス

コミュニケーション

対象グループ

このセミナーには、任命されたボランティア出先機関長および職員の全員が参加できる。

セミナーの内容

主に保護対象の被害者と対話を進めるうち、何度かどこか身体を傾けて走っているような感覚が生じた。

このような状況を自分自身についても、被害者の保護の面でも適切に分析できるようにするため、セミナーが支援し、背景を示し、「途切れた会話」をまた続けることができる方法を紹介する。

このセミナーの重要な内容は次の通り：

会話を分析する可能性を明示する
保護活動における財源評価の仲介
会話環境を変えるための戦略の仲介
犠牲者と職員の視点からの体験の側面に関する情報
会話を進める技術

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

お申し込みの際、ご自分の領域を対象とする会議場がどこか注意されたい。

前もって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約20人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

3月17日～3月19日 リヒテンフェルス

9月29日～10月1日 クロップンブルク

保護活動

対象グループ

このセミナーには、任命されたボランティア出先機関長および職員の全員が参加できる。

セミナーの内容

被害者支援活動において保護の役割は非常に重要である。そこで基本的なことは、被害者のリソースを知り、効果的な「自助のための支援」ができるようにすることである。効果的な保護活動を「紹介し、証明し、説明し、知らせ、助言し、別れ」サイクルとして認識し、活かす。「感染」から保護するために、被害者支援者にとって重要なことは、保護活動の中で近くにいることと距離をとることの間でバランスをとり、それを維持することである。

このセミナーの特徴は、頻繁にグループ活動を行うこと、参加者同士の経験交流である。

このセミナーの重要な内容は次の通り：

心的外傷障害、症状、反応

被害者リソース（記録）の活用

紹介 説明 説明 通知 助言 別れ

保護状況の負担との取り組み

「感染」危険の解明

安定させ、リラックスさせるテクニックを表現する

頻繁にグループ活動し、集中的に経験交流する

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

お申し込みの際、ご自分の領域を対象とする会議場がどこか注意されたい。

前もって補習セミナーを終了している場合のみ、継続教育セミナーを履修できる。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約20人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

9月22日～9月24日 ザーレム

11月17日～11月19日 オーバーヴェーゼル

将来の出先機関長および代理人のための資格付与セミナー

対象グループ

この形態のセミナーの対象は、新任の出先機関長である。同時に当該出先機関で常任代理人の役割を果たす職員もその対象になる。

目標設定

出先機関の管理運営には、ボランティア支援者を探し参加してもらうことが特に重要である。セミナーでは実現するために求められる知識と実際面のヒントが与えられる。また連邦事務局との連携を強め、それら関係者との経験交流も実現したい。同時に出先機関の組織と責任管理が必要である。

セミナーの内容

出先機関では、多くの異なる課題と行動が重なり合って進行している。これらを全て実行するには、課題を分ける必要がある。出先機関を管理するために、広報活動のような重点課題について担当する用意がある職員をその目的に応じて同時に選任する。

これらセミナーの重要な内容は次の通り：

ボランティア職員の参加
特殊ボランティア活動候補者との選抜対話
職員との話し合いの重要性
連邦事務局本部職員との実地活動に関する検討
被害者支援活動の進行
刑法上 / 社会法上の問題提起
出先機関を管理するための組織的支援

重要：

このセミナーでは実習が行われる。これらの演習参加の用意があることが前提条件である。

参加者

セミナー定員はそれぞれ約 20 人の予定。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

2月3日～2月5日 オーバーヴェーゼル

6月23日～6月25日 オーバーヴェーゼル

11月24日～11月26日 オーバーヴェーゼル

担当者のためのセミナー

対象グループ

基礎セミナーならびに訓練教育・継続教育セミナーで担当者として活動する人員。

この催セミナーへの招待は連邦事務局経由で行われる。

目標設定

ヴァイサー・リングのセミナーで担当者に対し、セミナーシステムに関する交流および構想推進の機会を提供するために、このグループのための補充セミナーを実施する。セミナーシステムに関する経験交流と構想展開と並行して、各種方法を紹介・討論し、一般的な方法支援を行う。

その場合、訓練教育・継続教育セミナーにおける活動条件と同様に基礎セミナーの様々な重点も考慮する。

重点設定および対象グループ選定にそれぞれ対応して改めてセミナー内容を編成する。

参加者

参加者数は、目標設定と対象グループに対応して定める。

セミナーの開始と終了

セミナーはいずれも金曜日に始まり、日曜日の共同昼食会で終わる。

セミナー参加料

セミナーは原則として無料である。ヴァイサー・リングは、取消の場合、計算した取り止め料の先送りを留保する。

2006 年期

1月13日～1月15日 オーバーヴェーゼル

担当者

（表）

アーベル、ヴォルフ・ヒンリヒ 職業軍人
バツコー、ミヒャエル 法律家
バーレス、エドゥアルト 刑事
バオムゲルトナー、ペートラ 社会教育学士
ベヒェム、クラオディア 刑事
ビーブル、ルードルフ 警察職員
ブランク、ウーヴェ 社会学者
ブラル、ヴェルナー 教育学者
ブリル、ハインツ・ギュンター 刑事
ブルーン、マティアス 刑事
ピュシャー、ヴォルフガング ジャーナリスト
クリステンゼン、アネドーレ 教師
デーリング・シュトリーニング、グードルン、博士 法律家
エッケルト、マルティナ、博士 心理学士
エングラント、ファイコー 法律家
フォッキンク、ターニャ 心理学士
フォルナゾン、ナディーネ 社会教育学士
フランツ、トーマス R. J. 法律家、経営学士
ガイス、レギーナ 行政職員
グラーフ、ペーター 刑事

グリューニング、ブリギッテ 社会教育学士
グリューニング、ウルリーケ 法律家
ゲルドゥナー、ギーゼラ 教育学士
ハイメルル、ヨーゼフ 警察職員
ハルトヴィヒ、ザビーネ リーダーシップトレーナー
ハーザー、ローレンツ 刑事
ハオア、カールハインツ 刑事
ハイケ、イエルク 行政官
ヘラー、ビルギト 職員
ヘムベル、ガブリエーラ 法律家
ヘニング、ハンス・イエルク 林務官
ホーエンマン、コンラート 退官特殊学校長
ホルトハオス、ガブリエーレ 法律家
ファン・ヒュレン、ヘルガルト、博士 法律家
ユーネマン、グードゥラ 刑事
カスプジョク、カルステン、博士 経済学士
ケラーマン、ザビーネ 社会教育学士
キーファー、クラオディア 心理学者
コルプ、ギュンター 法律家
コヴァルチュク、マールクス 法学者
クラフト、ルッツ 行政官
クマーレンダー、ヴォルフガング 専科教員
レスリー、カーリン 社会教育学士
リントベルク、ライナー、博士 心理学士
リンデンバハ、メータ 法律家
リュットケ・ブッドルス、ギーゼラ、博士 心理学士
マルシュナー・グラッツ、ペートラ 社会教育学士
メツナー、コリンナ 社会学士 / 刑事犯罪学士
ミヒェーレ、ユッタ 社会学非常勤講師
ミュラー、クリスティアーネ
ミュラー、オトフリート 刑事
パープスト、フランツ J. 行政学士 (Dipl. Verwaltungswirt)
パイツナー、スヴェン 法律家
プファイラー、ハラルト 警察職員
レックマン、ラルフ 法律家
リュスター、ヘルムート K. ジャーナリスト

シャルピング、バルバラ 法律家
シェレンベルク、モニカ 教育学士
シュルツ、オラフ 行政学士(Dipl. Verwaltungswirt)
シュヴァーブ、ヴァルター 法律家
ゼメラーク、アルフェート 法律家
シュメターン、ハンス 社会教育学士
シュピレ、ゲルト 神学士
シュテルツァー、クリスティーネ 法律家
タムピーア、ユッタ 社会民生委員
フェート、アンゲリカ 法律家
フォイクト、ヨアヒム 警察職員
ヴァイナー、ベルンハルト、博士 法律家
ヴェルナー、ティム A. 法律家
ヴィーンケン、コルネリア、博士 教育学士
ヴィルケ、クラオス 警察職員

*) スペースの関係上、セミナーの種類用略語を利用する。

AS 補習セミナー

WS-Begl. 継続教育セミナー「刑事訴訟手続における案内」

WS-Ziel. 継続教育セミナー「対象グループ指向犠牲者支援活動」

WS-Betr. 継続教育セミナー「保護活動」

WS-Ko. 継続教育セミナー「コミュニケーション」

WS-Fu. 継続教育セミナー「資金・物的手段調達(基金調達)」

WS-ÖA 継続教育セミナー「出先機関における広報活動」

Q-ASL 将来の出先機関長およびその代理人のための資格付与セミナー

セミナーハウス

フランケン・アカデミー シュナイ城
リヒテンフェルス

教育施設の静かな環境、歴史の枠組、近代的装備が我々のセミナーを実施するのに最高の前提条件を創り出している。

セミナー開催日は、レストランのような快適空間で締めることができる。また、一日の終わりなどに、スポーツ施設も利用できる（要望があればホールも利用できる）。

郡庁所在都市リヒテンフェルスの近傍には、巡礼参詣バジリカとして名高いフィーアツェーンハイリゲンがある。

宿泊には、ラジオ、テレビも無い簡素な部屋が用意されている。

カルディナル・フォン・ガーレン館（寄宿成人学校）
クロッペンブルク・シュターペルフェルト

1998年以來、協会セミナーがこの館で開催されている。

クロッペンブルク市があるエムスラントは、ハードなセミナー開催日の後、リラクゼーションを提供してくれる。この施設自体に、夕べの憩いと「炉辺談話」のために「小部屋」あるいはその他のグループスペースが用意されている。

水泳プール施設が利用できる。本館には、自由に利用できるテレビ室がある。

宿泊室は簡素なものであり、電話、テレビ、ラジオは置かれていない。

コルピング家族向け休暇用施設、ザーレム
（メクレンブルギシェ・シュヴァイツ）

この建物は、コルピングヴェルクの家族向け休暇用施設として構想・設置されている。広大な施設が特別な刺激を提供してくれる。会議に便利であり、レストランを利用でき、楽しい時間を過ごすことができる。

取り決めに従い、ボーリングのレーン、体育館、フィットネスルームが使える。長時間のセミナーが済んだ後は、体を動かすのは確かに良いことだ。だからスポーツ用品を持ってこよう。

宿泊には、個室と専用浴室を備える小規模アパートマンを利用する。各室に電話の用意があり、共通スペースにはテレビとラジオを備えている。

シェーンブルク・ツー・オーバーヴェーゼル（ミッテルライン）

コルピングファミリー・オーバーヴェーゼル運営の会館では、従来からヴァイサー・リングのセミナーが開催されている。

シェーンブルクの城塞がオーバーヴェーゼルの町の上に聳えている。ローレライから幾つかカーブを周り、ミッテルライン世界文化遺産のど真ん中にある。見事な景観に囲まれて、夕べのそぞろ歩きと洒落てみよう。騎士の大広間は、くつろぎの一時にも、経験交流にも利用できる。

部屋は、電話、テレビ、ラジオを省いた簡素な設備である。

全ての宿舎が個室予約保証。全室に専用浴室付きである。

セミナー開始の約4～6週間前に発送される案内状でルートを説明する。

費用の弁済

セミナー参加は原則として無償である。旅費は弁済される。

車で参加する費用は、現金出納規則の規定に従い清算できる。この清算の詳細については、マインツの第1課職員および州事務局職員に照会されたい。参加者が誘い合って往復する方法を優先して考えたい。案内状に添付する参加者リストに住所と電話番号を記載しているのは、連絡に便利と考えるからである。

列車利用の場合、各人が現地で特別料金、割引料金を探す方が、大抵の場合、乗車券の集中購入よりも安くなるため、乗車券購入、予約が必要ならば、それも参加者が自分で処理して頂きたい。その他の案内は、連邦事務所第1課職員あるいはそれぞれの管轄州事務局職員に照会されたい。

申込

当セミナーは、出先機関長および職員の全員に開放されている。ヴァイサー・リングは特別の補充セミナーを設けていないため、繰り返し参加も可能である。セミナー初回参加者は優先的に考慮される。

個々のセミナーの申込は出先機関チームが受け付ける。出先機関管理部は、申込を管轄の州事務局を経て連邦事務所に伝達する。申込は同所で受け付け時間順に登録し、同時に確認書を出す。

このパンフレット綴じ込みの書式を申込に利用できる。

予定人数以上の申込が来た場合、予約リストを作成する。申込者は、セミナー参加が可能か、当面は予約リスト掲載となるか通知を受ける。最終的な案内状は、セミナー開始の約4～6週間前に発送される。予約リスト掲載ボランティアに対しては、可能な限り、代替期間が提供される。何らかの重大な理由で（例えば疾病）希望のセミナーに参加できない参加者についても同じ扱いがなされる。

申込はどれも届出の義務がある点を指摘しておきたい。セミナーを突然に取り消したり、無断欠席したりした場合、他の参加者に振り向けることができない限り、取消料が生じる場合がある。場合により、このような手数料を考慮しなければならない。

州事務局アドレス

バーデン・ヴュルテンベルク州

70188 シュツットガルト、ハオスマンシュトラッセ 6

電話：0711 / 2 15 51 93

ファクス：0711 / 2 36 08 40

Eメール：lbbadenwuerttemberg@weisser-ring.de

バイエルン・ノルト州

95444 パイロイト、カール・シュラー・シュトラッセ 11

電話：0921 / 8 14 01

ファクス：0921 / 8 19 39

Eメール：lbbayernnord@weisser-ring.de

バイエルン・ジュート州

86690 メルティンゲン、ヒラーリア・レヒナー・シュトラッセ 18

電話 : 09078 / 8 94 94

ファクス : 09078 / 8 94 96

Eメール : lbbayernsued@weisser-ring.de

ベルリン州

12203 ベルリン、アオグスタブラッツ 7、14 号棟

電話 : 030 / 8 33 70 60

ファクス : 030 / 8 33 90 53

Eメール : lbberlin@weisser-ring.de

ブランデンブルク州

14467 ポツダム、ブライテ・シュトラッセ 19

電話 : 0331 / 29 12 73

ファクス : 0331 / 29 25 34

Eメール : lbbrandenburug@weisser-ring.de

ブレーメン州

28195 ブレーメン、ゼーゲシュトラッセ 47-51

電話 : 0421 / 32 32 11

ファクス : 0421 / 32 41 80

Eメール : lbbremen@weisser-ring.de

ハンブルク州

11085 ハンブルク、ヴィンターフーダー・ヴェーク 31

電話 : 040 / 2 51 76 80

ファクス : 040 / 2 50 42 67

Eメール : lbhamburug@weisser-ring.de

ヘッセン州

60439 フランクフルト・アム・マイン、ヘデルンハイマー・ラントシュトラッセ 56

電話 : 069 / 23 35 81

ファクス : 069 / 25 37 78

Eメール : lbhessen@weisser-ring.de

メクレンブルク・フォアポンメルン州

19053 シュヴェーリン、ヴィスマルシェ・シュトラッセ 136

電話 : 0385 / 5 00 76 60

ファクス : 0385 / 5 00 76 61

Eメール : lbmeckpom@weisser-ring.de

ニーダーザクセン州

30159 ハノーファー、ゲオルクスヴァル 3

電話 : 0511 / 79 99 97

ファクス : 0511 / 75 55 56

Eメール : lbniedersachsen@weisser-ring.de

ノルトライン・ヴェストファーレン / ラインラント州

52349 デューレン、ヨーゼフ・シュレーゲル・シュトラッセ 44

電話 : 02421 / 1 66 22

ファクス : 02421 / 1 02 99

Eメール : lbnrwrheinland@weisser-ring.de

ノルトライン・ヴェストファーレン / ヴェストファーレン・リッペ州

59063 ハム、カルデンホーファー・ヴェーク 138

電話 : 02381 / 69 45

ファクス : 02381 / 69 46

Eメール : lbnrwlippe@weisser-ring.de

ラインラント・プファルツ州

55120 マインツ、ハオプトシュトラッセ 17-19、6301 / c 棟

電話 : 06131 / 6 00 73 11

ファクス : 0631 / 6 00 74 41

Eメール : lbrheinlandpfalz@weisser-ring.de

ザールラント州

ザールブリュッケン 66121、ハルベルクシュトラッセ 44

電話 : 0681 / 6 73 19

ファクス : 0681 / 63 85 14

Eメール : lbsaarland@weisser-ring.de

ザクセン州

09111 ケムニッツ、グスターフ・フライターク・シュトラッセ 15

電話：0371 / 5 47 20

ファクス：0371 / 5 21 32 00

Eメール：lbsachsen@weisser-ring.de

ザクセン・アンハルト州

06132 ハレ、ヴィルヘルム・フォン・クレーヴィッツ・シュトラッセ 11

電話：0345 / 2 90 25 20

ファクス：0345 / 4 70 07 55

Eメール：lbsachsenanhalt@weisser-ring.de

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州

24105 キール、ブルンスヴィーカー・シュトラッセ 50

電話：0431 / 5 76 77

ファクス：0431 / 56 52 84

Eメール：lbschleswigholstein@weisser-ring.de

チューリンゲン州

99096 エルフルト、シラーシュトラッセ 22

電話：0361 / 3 46 46 46

ファクス：0361 / 3 46 46 47

Eメール：lbthueringen@weisser-ring.de

申込書式（略）

2006 年期申込データ（略）

2006 年セミナー開催地および開催期間（略）

2006 年度ドイツ連邦共和国各州における学校休暇（略）

支援 - 助言 - 防止

故意の違法犯罪行為によって直接あるいは間接に被害を受けた人に対する支援。非物質的、物質的給付によって支援できる。

被害者の利益を明確に支援。目的は、犯罪被害者と同人の縁故者の法的・社会的状況を持続的に改善することである。

犯罪防止支援措置

罪の償いおよび犯罪行為者・被害者補償のプロジェクトの支援

犯罪行為に対する人間的援助と人的世話

裁判期日案内

管轄当局との折衝の援助

他組織の支援仲介

犯罪行為と関わる物質的窮境に置かれている被害者を、主に下記の行動によって支援する

自由に選出された弁護士の許で行われる無償の初回助言のための助言チェック

弁護士費用の引受、特に

社会法による請求権を達成するため

（例えば、犯罪被害者補償法に基づいて）

刑事訴訟手続により社会補償権を擁護するため（被害者弁護士）

医療・心理初回助言のための相談チェック

被害者および同人の家族のための保養措置

犯行結果を（一時的に）切り抜けるための財政的援助

案内電話：01803 - 34 34 34（連邦全域、24時間）

寄付金払込口座 34 34 34・ドイツ銀行マインツ支店（銀行コード番号：550 700 40）